

石川英昭先生の略歴及び主な研究業績

雑誌名	鹿児島大学法学論集
巻	49
号	2
ページ	2-5
発行年	2015-03
URL	http://hdl.handle.net/10232/00029770

石川英昭先生の略歴及び主な研究業績

略 歴

- 昭和47年 3月 東北大学法学部卒業
- 昭和50年 3月 東北大学大学院法学研究科前期課程修了（法学修士）
- 昭和55年 3月 東北大学大学院法学研究科後期課程単位取得後退学
- 昭和55年 4月 鹿児島大学法文学部講師
- 昭和56年 7月 鹿児島大学法文学部助教授
- 昭和57年 7月 鹿児島大学大学院法学研究科担当
- 平成 5年 2月 鹿児島大学法文学部教授
- 平成10年 4月 鹿児島大学大学院人文社会科学研究科担当
- 平成12年11月 鹿児島大学法文学部法政策学科長（平成14年 3月まで）
- 平成12年12月 大阪市立大学博士（文学）
- 平成15年 4月 鹿児島大学大学院人文社会科学研究科法学専攻長（平成17年 3月まで）
- 鹿児島大学大学院人文社会科学研究科博士後期課程担当
- 平成21年 4月 鹿児島大学法文学部副学部長（教育研究評議会評議員）（平成22年 3月まで）
- 平成22年 4月 鹿児島大学法文学部学部長（平成24年 3月まで）
- 平成26年 3月 鹿児島大学定年退職
- 平成26年 4月 鹿児島大学名誉教授
- 鹿児島大学法文学部特任教授（平成27年 3月まで）

主な研究業績

1. 著書

『中国古代礼法思想の研究』創文社、2003年

2. 論文

① 中国的自然法論の構造について－荀子の論を中心に－、東北法学 1号、

1976年

- ②「韓非子の法思想」序説、集刊東洋学39号、1978年
- ③孔子の礼思想、法哲学年報、1978年
- ④韓非子の法思想（1）、鹿児島大学法学論集16巻2号、1981年
- ⑤相互主義人間観試論、金谷治編『中国における人間性の探求』創文社、1983年
- ⑥韓非子の法思想（2）、鹿児島大学法学論集18巻1・2合併号、1983年
- ⑦韓非子の法思想（3）、鹿児島大学法学論集20巻1号、1984年
- ⑧R．アンガーの中国古代礼法論、鹿児島大学法学論集22巻2号、1987年
- ⑨中国における社会治安観念の現在と伝統（1）、鹿児島大学法学論集27巻2号、1992年
- ⑩中国法文化的特質と儒学の影響、中国儒学と法律文化研究会編『儒学と法律文化』復旦大学出版社、1992年
- ⑪中国法思想の基層、田中邦夫編『パラダイム論の諸相』鹿児島大学法学部、1995年
- ⑫「義」の重視と中国法文化、中国儒学と法律文化研究会編『儒家義利観と市場経済』上海社会科学院出版社、1996年
- ⑬礼法秩序論をめぐって、鹿児島大学法学論集31巻2号、1996年
- ⑭中国における法思想史研究の現状と課題、法制史研究46号、1997年
- ⑮伝統法文化と現代法治、中国儒学と法律文化研究会編『儒家思想と現代道德和法治』吉林人民出版社、1998年
- ⑯ディベート論、鹿児島大学全学プロジェクト『新しい関係性を求めて－コミュニケーションの諸相－報告書No. 2』鹿児島大学、2000年
- ⑰中国法思想的基礎、張中秋編『中国法律形象的一面 外国人眼中的中国法』法律出版社、2002年
- ⑱楊度論－社会的文脈における意思決定－、鹿児島大学法学論集37巻1・2合併号、2003年
- ⑲議論の技術－「ディベート論」の現在－、鹿児島大学法学論集41巻1号、2006年
- ⑳中国における社会治安政策の展開とその基礎観念、鹿児島大学法学論集

42巻1・2合併号、2008年

①法の近代化の三次元、鹿児島大学法学論集47巻2号、2013年

②中国法治再訪、鹿児島大学法学論集49巻2号、2015年

口頭報告

①古代中国における法思想の展開、東北中国学会、1977年

②中国古代の法思想についての一考察、日本法哲学会、1978年

③中国古代礼法論をめぐって、法制史学会、1986年

④中国法文化の特質と儒学の影響、中国儒学与法律文化研究会、1991年

⑤「義」の重視と中国法文化、中国儒学与法律文化研究会、1995年

⑥伝統法文化と現代法治、中国儒学与法律文化研究会、1997年

⑦現代法治と法思想研究、日本中国学会、1997年

⑧司法と感情、中国法律史学会、2001年

⑨全球化の一般理論、中国法律史学会儒学与法律文化分会、2004年

⑩古代日本法における中国法の影響、中国全国外国法制史研究会、2007年

⑪法の近代化の三次元、「法律移植与法律翻訳」国際学術研討会、2011年

翻訳

①中国法律論理研究会（1989年・湘潭）の報告から（1）、鹿児島大学法学論集25巻1・2合併号、1990年

②中国法律論理研究会（1989年・湘潭）の報告から（2）、鹿児島大学法学論集26巻1号、1990年

③中国法律論理研究会（1989年・湘潭）の報告から（3）、鹿児島大学法学論集27巻1号、1991年

④ジャービー「社会科学における理解と説明」、鹿児島大学法学論集28巻1号、1992年

⑤鄧正来「中国法学はどこへ向かうのか（上）」、地域政策科学研究5号、2008年

⑥鄧正来「中国法学はどこへ向かうのか 1（三）」、鹿児島大学法学論集43巻1号、2008年

- ⑦鄧正来「中国法学はどこへ向かうのか（二）」、地域政策科学研究 6 号、2009年
- ⑧鄧正来「中国法学はどこへ向かうのか 2（四）」、鹿児島大学法学論集 43巻 2号、2009年
- ⑨鄧正来「中国法学はどこへ向かうのか 自序」、鹿児島大学法学論集45巻 2号、2011年
- ⑩宋在友「法治：政治国家から市民社会へー西洋法治の政治経済学研究」、鹿児島大学法学論集47巻 1号、2011年

その他

- ①岩波思想哲学辞典 「法家思想」「韓非子」、岩波書店、1998年
- ②中国思想文化事典 「法」、東京大学出版会、2001年
- ③ぎをゆな考、奄美ニューズレター、24号、2005年
- ④ロースクール時代の法哲学、鹿児島大学法学論集41巻 2号、2007年